

サイバー電子錠



ICカードの認証は
ブザー音と
照光ランプで表示



簡単施工で、ICカード認証の

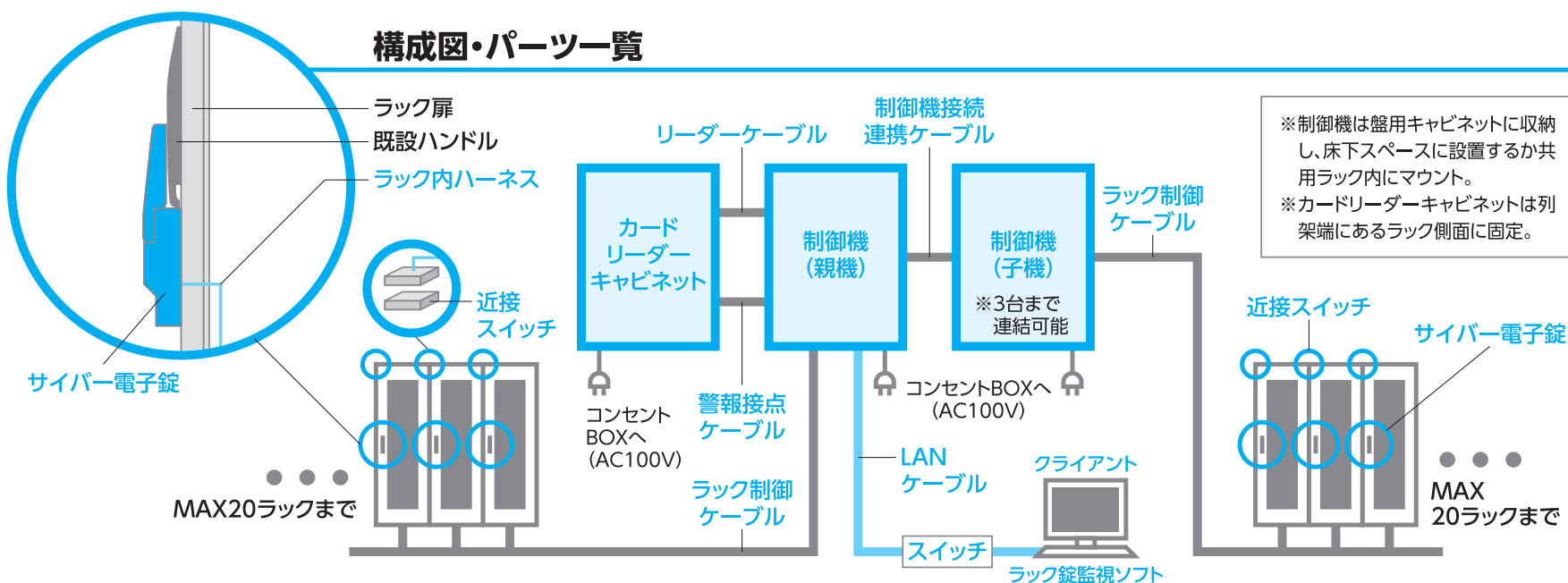
「高セキュリティラック」にレベルアップ！

専用ソフトで、顧客ニーズに合わせた「システム自動化」の
段階導入が可能！

- セキュリティで話題の「ICカードによるラック開錠システム」を、ローコスト・短納期で構築できます。
- 「システム自動化」によるデータセンター運用は、顧客サービスの向上と人件費の削減を両立させます。
- 重厚でスタイリッシュなハンドルデザインで、既設ラックの「使い勝手」と「安心感」を損ないません。
- 専用設計のケーブル類は、設置工事での作業に関する事故や負担を軽減します。



構成図・パーツ一覧



ワンアクションの
後付け電子錠

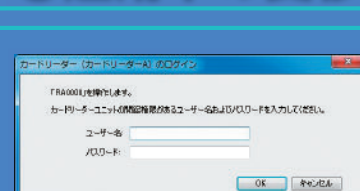
ラック錠監視ソフト [RP47-SSS02]

ラックのリアルな状態が表示可能な専用ソフトで、状況監視を効率的にサポート

ラックの設置数や
運用方法に合わせて、
階層表示が可能です。



①運用中の変移や異常の状態が一目で判る管理画面



②記録に残せる遠隔開錠操作

- ラック名のボタンを押して、ログインのIDとパスワードを入力することで、遠隔での開錠操作ができログが残せます。

緊急時に遠隔開錠操作する時も、ログイン画面のIDとパスワードを入力しないと開錠できません。

③ラック列の忠実なレイアウト構築

- ラックのレイアウトを忠実に再現することで、管理担当者と現場担当者の連携しやすい作業環境が実現
- 「固定⇄移動モード」ボタンの切替で、ラックレイアウト図の容易な移動調節が可能

④確実な利用ログの収集

- ログはCSV形式で、月別の専用フォルダーに収納
- 開閉ログは「開錠」、「開放」、「施錠」、「オートロック」を月別、カードリーダー別で収集
- ラック異常状態の「こじ開け」「閉め忘れ」ログを月別に収集

ネットワークエラーが発生しても、復旧後に制御機から新たにログ収集を再試行するので、ログ消失の心配がありません。

⑤安心できる緊急表示

(現在発生している警報ログのダブルクリックで、
監視画面は対象エリアを即表示)